

2023年4月24日

エリア別の空室率が一目で分かる！ 楽待の公式アプリ「賃貸経営マップ」に新機能

ユーザーからの要望を受け、賃貸需要の調査に役立つ新機能を追加

<本リリースのポイント>

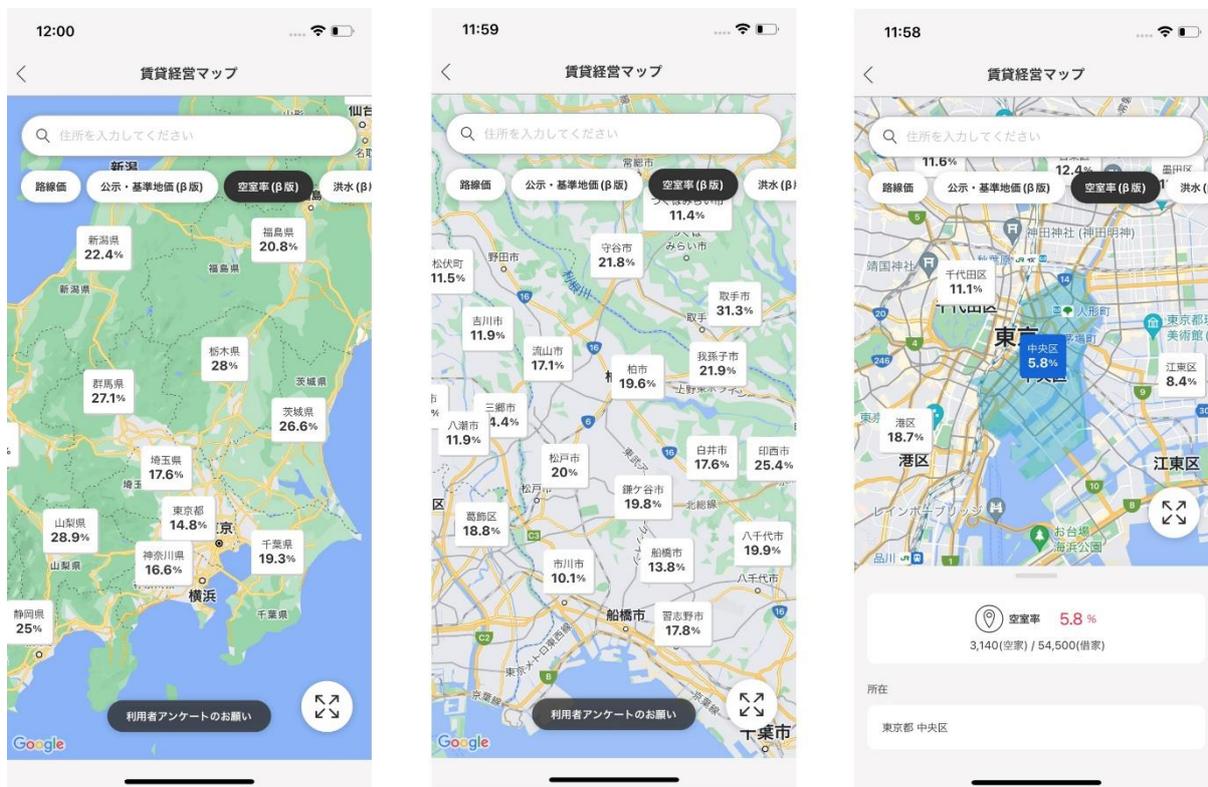
- ・「洪水ハザードマップ」や「公示地価・基準地価」、「路線価」などが地図上で確認できる「賃貸経営マップ」に、「エリア別の空室率」が分かる機能が搭載された（現在はアプリ限定で利用可能）
- ・空室率は「都道府県」「市区町村」単位で確認でき、エリアごとの賃貸需要が一目で分かる
- ・今後も「人口」や「物件価格相場」など、賃貸経営に関わるさまざまな情報をマップに追加予定



株式会社ファーストロジック（本社：東京都中央区、東証スタンダード上場、証券コード：6037）が運営する国内最大の不動産投資サイト「楽待（<https://www.rakumachi.jp/>）」の公式アプリに、「エリア別の空室率」を地図上でチェックできる機能が追加されました。本機能は、「賃貸経営マップ」という地図上で「路線価」「公示・基準地価」「洪水ハザードマップ」を一括で確認できる機能に追加されます。賃貸経営において、空室リスクは無視できない問題です。本機能を使えば、物件探しをするときにエリアごとの賃貸需要をすばやく把握し、適切な投資判断やシミュレーションに役立てることができます。

■都道府県や市区町村単位での空室率が一目で分かる

賃貸経営マップ上で「空室率」をタップすると、都道府県単位や市区町村単位での空室率が表示されます。確認したいエリアをタップすると、該当エリアの借家の数と空家の数も表示されます。12年連続で人口が減少している日本では、エリアによって空室率の上昇が目立ちます。賃貸経営では、空室が増えるほど家賃収入が減っていくため、どのエリアに投資するかは今後の収支を左右する重要な判断になります。



左から都道府県単位、市区町村単位、特定のエリアをタップした際の画面

当社のミッションである「不動産投資家の支援」のため、これからも適切な投資判断に役立つようなサービスを提供してまいります。

【不動産投資の「楽待」概要】

2006年3月に開設した「楽待」は、月間168万人が訪れる、使いやすさ・利用者数・掲載物件数・No.1(*1)の不動産投資サイトです。全国4500社の不動産会社が毎日物件情報を登録しており、ユーザーは自身の希望条件で絞り込んで、目当ての物件を探すことができます。

また、不動産投資専門メディア「楽待新聞」を通じ、業界のニュースや不動産投資の成功談・失敗談などを発信。公式YouTube「不動産投資の楽待(らくまち)」はチャンネル登録者数41.5万人、総再生回数は1億8600万回にのぼります。(2023年4月時点)

不動産業界のDX(デジタルトランスフォーメーション)を促進するため、2020年6月には、不動産会社とオンライン通話ができる「ビデオ通話」機能もリリースしました。更に2022年6月には有料会員サービス「楽待プレミアム」を開始。登録することで、業界初(*2)の独自機能「賃貸経営マップ」やプレミアム会員限定動画が見放題になります。「公正な不動産投資市場を創造する」というビジョンのもと、不動産投資家・加盟不動産会社の双方にとって使いやすい機能やサービスの提供に努めてまいります。

【会社概要】

社名: 株式会社ファーストロジック

URL: <https://www.firstlogic.co.jp/>

上場市場: 東証スタンダード(証券コード: 6037)

本社: 東京都中央区八丁堀三丁目3番5号 住友不動産八丁堀ビル5階

設立: 2005年8月23日

事業内容: 国内最大の不動産投資サイト「楽待」の運営

【本件の問い合わせ】

株式会社ファーストロジック広報担当: 金子(かねこ)・尾藤(びとう)

携帯電話: 080-4129-5743

固定電話: 03-6833-9438

E-mail: rakumachi@firstlogic.co.jp

*1 『物件数 No.1』: 日本マーケティングリサーチ機構調べ(2022年12月)

『使いやすさ No.1』: ゴメス・コンサルティング調べ(2022年12月)

『利用者数 No.1』: 自社調べ(2022年12月)

*2 自社調べ(2023年4月)